

助成受給団体名	ふりがな けせんぬまちくしょうねんほどういんきょうかい 気仙沼地区少年補導員協会
事業の名称	地域で育もう2014!被災地気仙沼の未来を担う子ども達を
実施期間	「覚書」第2条で定めた期間を書いてください。 平成26年8月1日～同27年3月31日
実施した事業の内容(200字以上500字以内に収めてください。)	
<p>被災地気仙沼では、震災後、携帯電話を所持する少年が大幅に増加し、スマートフォンを悪用した盗撮や生徒間トラブルが散見されるほか、少年による万引き等の問題行動が発生している状況にある。</p> <p>気仙沼地区少年補導員協会では、管内各学校で開催される非行(薬物乱用)防止教室又は情報モラル教室に活用することを目的に、万引き防止DVD(小学生向け)、薬物乱用防止DVD(中・高校生向け)及び情報モラルDVD(中・高校生向け)をそれぞれ購入し、平成26年8月以降、飛行防止教室等において上映した。</p> <p>また、万引き防止チラシを4,000枚、身近な犯罪を取り上げた非行防止チラシを4,500枚作成し、平成26年9月26日付けで市内の全小学生(2,957人)及び全中・高校生(3,944人)にそれぞれ配布したもので、同年10月以降に開催された非行防止・情報モラル教室において、同チラシを活用した講話を実施し、少年自身の規範意識高揚を図った。</p>	
事業の成果(200字以上400字以内に収めてください。)	
<p>本事業において作製した各種DVDを非行防止教室等の機会に上映したところ、小・中・高校生は真剣に受講しており、平成26年中における管内の少年非行は、過去10年間で最も少ない検挙・補導人員(95人)となった。</p> <p>また、非行防止チラシ等を各学校を通じて全児童・生徒に配布したところ、学校教員から「広報啓発チラシを配布していただき、感謝している。」等の反響が寄せられたもので、少年の規範意識向上に大きな成果が上がり、少年非行の大幅な減少につながった。</p>	
今後の課題	
<p>市内各学校における非行防止教室等の開催率(平成26年度)は83.7%で、管内の少年非行は大幅に減少したものの、高校生による傷害事件等が発生していることから、引き続き少年の規範意識向上に向けた取組を強力に推進していく必要がある。</p>	

